広報ひらつか

市制記念特集号

平成5年4月1日（特集第43号）
発行・神奈川県平塚市　編集・企画部広報広聴課
〒254 平塚市浅間町9番1号　電話23-1111・35-1111

平和のモニュメント
4月1日は市制記念日

平塚市は、四月一日で市制施行六十一年目を迎えます。昨年度の一年間を通して各種の記念事業を行い、去る三月二十日総合公園で平和モニュメントの除幕式を行って、六十周年の幕を閉じました。今年度は、あとわずかに迫る二十一世紀への基盤づくりとして「新平塚市総合計画HOTプラン21」を基軸に、住みよい明るいまちづくりを進めていきます。それでは、市制施行六十周年記念事業を振り返りながら、平成四年度に取り組んだ主な事業を紹介しましょう。（二、三面で写真紹介）

記念事業終わる

市制施行六十周年記念事業として、昨年四月五日に中央公民館で、記念式典を盛大に挙行しました。また、四月十九日には、若松部屋（元朝潮）を招き、相撲教室を開いて三百人の子供たちを招待しました。

五月二日から四日までは、春まつりとして、総合公園で「緑と花の祭典」を開き、十一万五千人が参加してまつりを盛り上げました。夏には、平塚海岸のボードウォークを利用して、七月二十四日から八月九日まで「ビーチカーニバル」を開き、八月二十一日から三日間は、総合公園の平塚のはらっぱで「総合公園夏まつり大盆踊り大会」を開催し、夏の夜のひとときを楽しみました。

秋には、総合公園と総合体育館で「天高くみんなでフェスティバル」をテーマに、健康フェスティバルと、ともしびフェスティバル（十一月七日～八日）を開催しました。冬には、市民センターで「第九をうたう市民のつどい」（十一月二十二日）を開催し、五百人の大合唱で観客を魅了しました。

また、八月十三日には、二十五万人目の市民として、栗田学ちゃんを迎えることができたことなど、六十周年を飾るにふさわしい年となりました。

新しいまちづくりを

平塚市長　石川京一

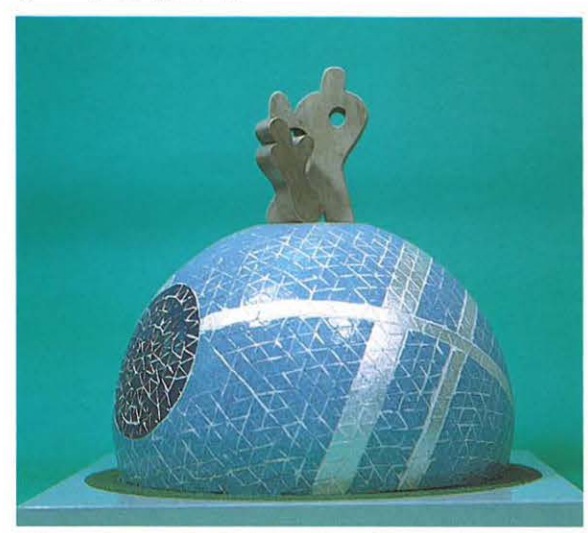
市制施行六十周年という記念すべき年を迎えた昨年度は、市民のみなさんの多数のご参加とご協力のもと多彩な記念事業を展開することができました。市民のみなさんや訪れた方々に平塚の魅力をご理解いただくとともに、交流の輪が広がり、この意義ある年を輝かしい歴史の一頁とすることができました。一年間誠にありがとうございました。

平塚市は、現在「きらめく海、緑の丘、創造とうるおいの湘南の都市（まち）ひらつか」の将来像に向けて新しいまちづくりを進めています。

今年度は、市民ニーズや経済・社会情勢の変化に即応するため、新平塚市総合計画の第三次実施計画の策定を行います。将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、子ども教育相談センターを設置するほか、市内全中学校へ生徒用のパソコンを導入します。地域活動の充実や高齢化社会に備え、西図書館の開設、公園と公民館が一体となったなでしこ地区公民館の建設や南部地区の福祉会館・図書館及び体育館からなる複合施設の構想の取りまとめなどを行います。また、芸術の秋には、県と共催し、総合公園で湘南ひらつか野外彫刻展を開催します。

二十一世紀に向け、四季折々肌をなでる湘南の風、そんな感触を味わうことのできる人間中心のまちづくりを、二十五万市民のみなさんと一体となって進めていきたいと思っていますので、よろしくご支援をお願いいたします。

平和のシンボルに
題名はマザーアース



市は、市制施行六十周年記念事業の締めくくりとして、総合公園に平和モニュメントを建立し、三月二十日除幕式を行いました。

昭和六十年十二月二十日に核兵器廃絶平和都市宣言をして以来、各種平和推進事業を市民のみなさんと一緒に行い、平和の尊さ、大切さを訴えてきましたが、市制施行六十周年の節目に、恒久平和を願う施設として平和モニュメントを建立したものです。

場所は、総合公園出会いの広場の西側の丘の上で、題名は「マザーアース」と名付けられました。

作品の「マザーアース」は、市民の平和を願う心を表すものとして、美しい地球をイメージした球形の台座の上に、幸せな家族をシンボル化したモニュメントで、平和な地球が到来することを願うものとなっています。

また、二十一世紀に向けた市制施行六十周年からのメッセージとして、内部にタイムカプセルを収納しました。

モニュメントの大きさは、台座部分が直径五㍍、高さ三・一㍍の半円形で、上部の像の高さが二㍍、全体で五・一㍍の高さです。

制作者は、厚木市出身の彫刻家藤江暁氏の所属するグループ「総合芸術」です。藤江氏は、昭和五十九年花巻市文化会館前に制作した「風の又三郎」で第一回本郷新賞を受賞。主な作品としては、九州東海大学松前会館前の像、本厚木駅前の像などがあります。

紀へのまちづくり

平塚新港建設進む

平塚新港は、漁港と海洋レクリエーションとの共存を目指して、昭和六十三年度から工事が進められています。

この整備計画は安全性、操業面で障害となっている現在の平塚漁港を、相模湾へと移そうとするもので、平成四年度は外殻施設として東防波堤（一六二・七メートル）、西防波堤Ⅰ（一九〇メートル）、西防波堤Ⅱ（一二メートル）が整備されました。

すべて完成するのは平成十年度で、完成後は漁港のみならず、遊漁船など、平塚海岸におけるマリンスポーツのメッカとなります。

なでしこ公民館
完成予想図

なでしこ公園を建設中

なでしこ公園は、郵政省の電波管理塔跡地を払い下げ、平成４年度から３か年継続事業で建設しています。公園は、金目川の河口に位置するところから、「人・水・出会いの広場」をテーマに、水に直接触れることのできる市民の憩いの場所として整備しています。

また、北口部分には、鉄筋コンクリート造り２階建てのなでしこ公民館を平成５年度に建設する予定です。すべて完成するのは、平成６年度になります。

西図書館が完成

ヨットのオープン

整備された城島小校庭

城島小学校の校庭が整備されました。校庭は、雨が降っても数時間で使用できるよう、水はけのよいグリーンサンドを使用しています。また、グラウンドと分けて、公園を意識した複合遊具のある広場が整備されています。

教育相談センター

4月に開設

平塚市子ども教育相談センターが完成し、四月からスタートします。教育相談センターは、崇善小学校北側のことばの教室の隣りに建設したもので、鉄筋コンクリート造り二階建てです。

一階には、初回面接室、心理検査室、個別指導室、プレイルームなどがあり、二階には、聴覚検査室、作業療法室、指導教室などを設置し、教育相談を機能的に行う場となっています。

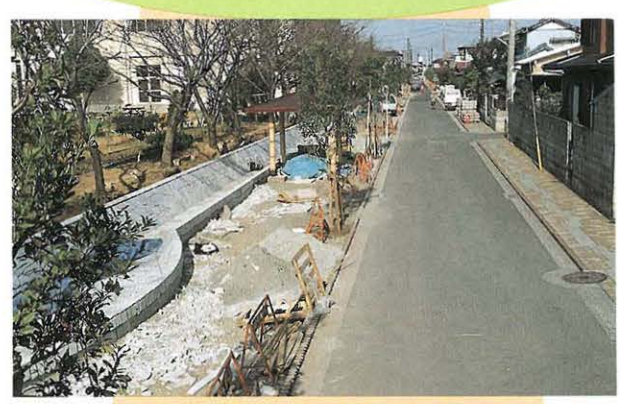
教育相談は、子供とその家族、学校の先生と、子供の様々な問題を共に考え、子供が健全な成長を遂げられるように、助言・援助をします。子供についてのご相談ならご本人、ご家族、学校の先生など、どなたでもお受けします。

馬入ポンプ場一部稼働

公共下水道の馬入ポンプ場が完成し、一部稼働を始めました。稼働したポンプは、計画排水量27立方㍍（１秒間）のうち13.5立方㍍排水できるポンプで残りは平成５年度に施工します。

低地帯の馬入・中堂地域は、これまで降雨で相模川の水位が上昇すると冠水したため、下水道計画の見直しを行い、ポンプ場を設置して、冠水の防止をはかることにしました。ポンプ場は、相模川に面するところから東南方向に、ヨットの帆をイメージしたレリーフが取り付けられています。

コミュニティ道路



市民生活に密着した生活道路を「コミュニティ道路」として整備をしています。下田川コミュニティ道路は、下田排水路の上を利用した道路で、地域の歴史的背景や沿道の状況等を考慮して、植樹、照明灯、段差の少ない歩道と車道など、潤いと安らぎのある魅力的な道路整備をしています。（写真）

田村16号線コミュニティ道路は、相模川の旧堤防敷を利用しており、樹齢30年の桜並木を生かして人と車道を分離した“人に優しい”道路として整備をしています。すべての完成は平成５年度の予定です。

西海岸マリンロード

西海岸商店街は、新しい時代に即応したまちづくりを進めようと、「歩いてやさしい西海岸」をテーマに整備をしました。

路面の舗装は、車道部分にブルーの鉱材を入れたカラーアスファルト舗装、歩道部分は波の流れをモチーフとした人工ミカゲ石を張り、各交差点に絵タイルを配置した楽しい道となっています。また、沿道景観を高める街具（ベンチ、道しるべ等）にも気を遣い、街並みを一新しました。道路愛称も「西海岸マリンロード」と決定しました。

道路愛称名決まる

フェスタロードやさくら通り

市制六十周年記念事業の一つとして募集していた、市道八路線の「愛称」が決まりました。

応募は、二百七十三人の方から五百五十件、四百七十二種類の愛称が寄せられ、道路愛称選定委員会で検討し、決定されました。

命名された愛称は、平塚駅北口から国道一号線までを結ぶ駅前大通りが、陽気で楽しいイメージから「フェスタロード」に、平塚郵便局前から追分交差点までの道路を「イチョウ並木通り」など、だれにでも親しまれる愛称が付けられました。（左図のとおり）

以前からある「東海道スターモール」や「紅谷パールロード」、「公園通り」、「西海岸マリンロード」などは、今までどおりの愛称名です。

❶フェスタロード

「フェスタ」とは、英語のFestal（フェスタル）。「祭りの」「陽気な」という意味からとったもの。メインの路線にふさわしい、響きの良い、楽しさと意味に広がりのあるシンボル的な名称になりました。路線延長379.5㍍。駅前北口広場に接し、MNビル前、富士銀行前、ＮＴＴ前を通り、国道１号線交差点までの平塚を代表する道路。

❷さくら通り

八重桜に挟まれた道路であることからこの愛称となりました。また「さくら」とひらがなで表現することにより、わかりよく、温かみのある名称になっています。路線延長539.5㍍。国道１号線から、平塚八幡宮東側、市役所庁舎東側、消防署前を通り、合同庁舎前交差点までの道路で、駅から厚木方面へ向かう主要な道路となっています。

❸Muロード（ミュー）

英語で、美術館、博物館を意味する「Museum（ミューゼアム）」の頭２文字で「Mu（ミュー）」。現代的で文化的、そして新鮮な響きとイメージを与える名称。路線延長430.2㍍。合同庁舎前交差点から、中央図書館及び博物館北側、美術館前を通り、横浜ゴム東門前交差点までの文化、公共施設が建ち並ぶ道路。

❹イチョウ並木通り

文字通り「イチョウ」の並木通りを表現したもの。この路線は、両側のイチョウ並木が四季折々の変化を見せ、秋にはぎんなんの実を拾う人の姿もみかける美しい、豊かな通りとなっています。路線延長783.8㍍。平塚郵便局前交差点から、横浜ゴムの南側を通り、追分交差点までの道路。伊勢原・秦野へ向かう主要道路となっています。

❺プラザロード

英語のPlaza。「広場」「市場」という意味と市の施設「市民プラザ」を反映した名称。路線延長653.7㍍。東海道本通り・市民プラザ前交差点から、崇善小学校西側を通り、横浜ゴムまでの道路。幅員が広く、キョウチクトウの中央分離帯があり、毎年夏になると、鮮やかなピンク色の花をつけて目を楽しませてくれます。

❻扇松海岸通り

平塚市の名木であり、保存樹木に指定されている「扇松（おおぎのまつ）」にちなんで付けられた名称。また、海岸に近く、閑静な住宅地の中を通るところから、環境にもマッチしたこの名称となりました。路線延長1275.8㍍。ＪＲ平塚駅南口から、扇松前を通り、国道134号線までの道路で、緑豊かな住宅街を南北に貫き、海岸へ至る道路。

❼学園通り

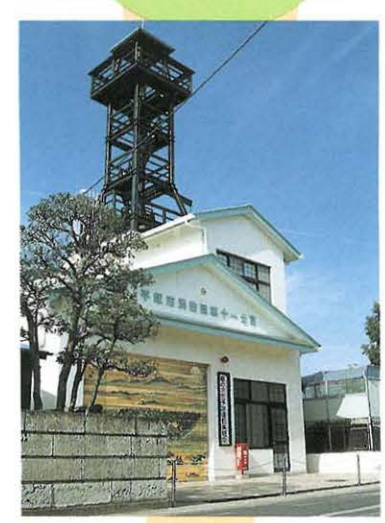
青春の園としての場が「学園」です。この道路は、周囲に、港小学校、太洋中学校、高浜高校、平塚学園高校の４つの学校があり、朝夕の児童生徒の通行が多いところからこの名称となりました。路線延長998.0㍍。平塚税務署前交差点から、港小学校と須賀公園の間、高浜高校北側、月見町公園を通り、国道129号線までの道路。

❽テクノロード

英語のTechnology（テクノロジー）の短縮形。「技術」「科学技術」の意味。工業地帯を縦貫する道路であることから、未来へ期待を込め、先端技術産業工場の発展を願って、新鮮で、先進的イメージを持つ名称となりました。路線延長2533.0㍍。国道１号線工業団地入口から、蓮光寺前、馬入工業団地の中を通り、湘南新道交差点（計画中）までの道路。

21世

消防第11分団庁舎が完成



消防本部では、消防第十一分団の庁舎が老朽化していたため、建て替え工事を行い、昨年十二月に完成しました。

新庁舎は、鉄筋コンクリート造り二階建てで、延べ面積は九九・六七平方㍍です。建物は、昔をしのんだ火の見と、入り口のシャッターに中原御殿を再現した絵が描かれています。

北図書館に続いて、山下に西図書館が完成し、五月にオープンします。

西図書館は、鉄筋コンクリート造り二階建てで、延べ面積は二五三九・八八平方㍍です。一階部分は子供向けのフロアで、子供閲覧室、お話コーナー、視聴覚室があります。二階部分は主として大人向けのフロアで、一般閲覧室、ブラウジングコーナー、対面朗読室などがあり、地域の特性から歴史に関する資料を収集しています。また、身障者やお年寄りのためにエレベーターが設置されています。

虹ケ浜西住宅が完成

第２種虹ケ浜西住宅が完成しました。中層耐火構造３階建てで24戸です。このうち１戸は、障害者向け住宅として車いす対応構造にしてあります。

特徴は、高齢者向け住宅として、居間・廊下・洗面所・脱衣所・和室の段差をとり、玄関・ふろ場等に手すりを設置しています。

駐車場は13台設置してあり、４月１日入居の予定です。

金目川の堤（旭地区）

桜、サクラ、さくら

そよ風に乗ってあなたも

海と山に囲まれ、豊かな水と緑がいっぱいの平塚。市内には平塚八景をはじめ、ハイキングコース、サイクリングコースなどの自然が私たちを迎えてくれます。例年、この時期になるとテレビや新聞紙上をにぎわすのが桜の行楽地。平塚にも桜の名所がたくさんあります。今年は暖冬の影響で桜前線も早まっています。のどかな春の一日、そよ風を受けながら出掛けてみてはいかがですか。

八幡山公園

・交通　平塚駅北口から徒歩10分

平塚八景の一つで、平塚八幡宮の森とともに中心市街地のオアシスとなっています。園内には桜、あじさい、はぎなど、四季折々の花木が目を楽しませてくれ、緑に囲まれた広い園内には平和の慰霊塔、戦災復興事業完成記念碑が建立されています。

桜の本数は約百二十本。この場所は例年、夜桜の花見客が多く、花吹雪の下で、散っていく花を惜しむ風景があちらこちらで見られます。

愛宕山公園

・交通　井の口経由秦野駅行き「七国荘」下車、徒歩5分

自然を生かし造成された公園で、樹木が密生し、樹種も多彩。山の上に愛宕神社があり梅、桃、桜のお花見場所として人気があります。

なお、近くにあるのが平塚八景の「七国峠・遠藤原」。七国峠は、昔、甲斐、駿河、伊豆、相模、武蔵、上総、安房の七国が一望のもとに見渡すことができたといわれ、すばらしい景観が楽しめます。また、七国峠から北へ抜ける道筋に遠藤原が開け、つつじやりんどうが季節ごとに美しく咲きます。

湘南平のハイキングコース

湘南平

・交通　湘南平行き「終点」下車

神奈川の景勝五十選の地で、湘南の海岸線と丹沢連峰から伊豆の山々まで見渡せる眺めは雄大ですばらしく、訪れる人を魅了します。

春には桜やつつじのお花見、アスレチックコース、そして緑のハイキングなど、景勝地としてだけでなく、憩いの場所となっています。

現在、湘南平周辺は平成十二年（二〇〇〇年）までの計画で整備が始まっています。光と風のゾーン（湘南平）、子供の森ゾーン（子供の森）、文化の森ゾーン（高根地区）、こもれびの森ゾーン（浅間山）、季節の森ゾーン（子供の森から湘南平へ向かう途中の急斜面）の五区画に分かれており、自然科学館、展望レストラン、湿生植物園などができるほか、湘南平と浅間山にはつり橋も計画され、夢がいっぱいです。

総合公園にある桜の広場

・交通　田村車庫行き「総合公園」下車

総合公園内中央大池の西側にあり、染井吉野を主体に八種類、百五十本。三月中旬から咲き始める彼岸桜から、四月中旬に咲き始める山桜まで、長い期間お花見ができるようになっています。広場内には遊具、ベンチなどが置かれ、年間を通してピクニック気分の家族連れでにぎわっています。

・桜の種類　染井吉野、しだれ桜、山桜、冬桜、寒緋桜、さと桜等。

なお、総合公園は農林省果樹園芸試験場の跡地を利用して造られたため、植栽した桜のほかに、既存の桜が数多くあります。お出掛けください。

美術館の神代桜

美術館の常設展示室に、桜を表現した工藤甲人画伯（市内在住）の作品「相」が展示されています。

この桜は、山梨県武川村の実相寺にある日本一の巨樹「神代桜」で、根本の周囲は一三・五㍍、目通り幹囲は一〇・六㍍。幹は地上二・四㍍で枝を分け、一本の主幹と四本の枝とに分かれ、枝張り東西二七㍍、南北三一㍍で樹高は一三・六㍍。花の色は淡紅色ですが開花すると白色になります。

大正十一年十月、国指定の天然記念物となりました。昭和になってから暴風のため主幹が折れ、その後も次第に枝が枯れ、今では根本から東方に出た太い枝と、幹から出ている細かい枝がわずかに残っているだけ。それでも精一杯生きている枝には花が咲き、地をはうように咲き続ける姿に今年も多くの花見客が訪れています。（武川村役場・談）

縦一六六・四㌢　横二六七・八㌢　一九八四年

にぎわった金目川

大正時代初めごろ

金目川堤の桜は、明治三十八年に過去二年にわたった日露戦争を記念するため、南原、長持、飯島、片岡、南金目にわたって苗木数千本が植えられ、これが大正時代に見事な花の名所となり、京浜方面からも多くの花見客が押しかけてにぎわいました。

その後、長い歳月の間に樹勢が衰え、残存の木も減ったため、昭和四十年再び苗木を植えたものが現在の桜です。

今では、金目川のサイクリングコースの桜を含めて約百本が美を競っています。

また、金目川の下流は、通称花水川と呼ばれており、昔源頼朝が花見に来たところ、前夜の嵐で花が散り失せて見そこなったため「花見ず川」と呼ぶようになり、いつしか「花水川」になったという伝説が残っています。

国道一号線の花水橋から南原までの両岸の堤に、湘南平と同じ品種の大島桜、染井吉野、山桜、八重桜が二百数十本。花どきには昔の風情がしのばれます。これは昭和三十二年、市制二十五周年記念にと、当時の農林省果樹園芸試験場の指導で植えた苗木が育ったものです。

なお、横浜貿易新報（現・神奈川新聞）では、当時のお花見のにぎわいを、〝湘南の人出　比春のレコード　花もよし汐干もよし〟という見出しをつけ、昭和五年四月七日付けで報じています。

【平塚発】昨日の日曜は、薄雲りでお花見には申分のない花日和、花は今が絶頂とばかりに湘南の各驛は、来る列車毎に満員の盛況、平塚、大磯両驛共に、今春第一の雑踏振りであった花もよし汐干狩にもよい摘草、散策、山登り等に春の行楽で賑った湘南地方は何處も一様に春宵の歌楽境と化してゐた（原文のまま）

サクラあれこれ

さくらの日

「さくらの日」は3月27日。『日本後紀』の弘仁3年（八一二年）2月12日（太陽暦では3月27日）の条に、「花宴の節はここに始まる」との記述があること、また、「咲く」（3×9＝27）のごろ合わせから、平成4年に決められました。

地名

市内にある桜に関連する地名は5か所。

「桜ケ丘」は、近くの花水川の堤に桜が多いための関連地名と思われます。また、岡崎に「桜畑」、土屋に「桜畑」、「上桜畑」。下吉沢の「桜沢」は、春になると山桜が咲くことからつけられたと考えられます。

ことわざ

・桜3月、菖蒲（しょうぶ）は5月

花にはそれぞれ見ごろがあるということ。時季の花を表す言葉。

・桜は花に顕（あらわ）れる

しばらくはほかの雑木にまぎれていたのが、美しい花が咲いて初めて、それが桜の花であったとわかる意味。あるときまではほかの人と同じように見えた者が、何らかの機会に生まれ持った才能を表すことのたとえ。

・桜を折りたるさま

装いの美しさを、折ってきたばかりの桜の花の姿にたとえたもの。

さくらめし

御飯を炊くとき、少量の清酒としょう油を入れたもの。一般的には「茶めし」と呼ばれていますが、桜の花の色をしているので、平塚地方では「さくらめし」とも呼ばれています。

花ことば

・よい教育、独立、精神美

アメリカの初代大統領ワシントンは、子供のとき父が大切にしていた庭の桜の木を切ったが、正直に告白した逸話があります。彼は後に、アメリカの独立革命の総司令官となりました。